

「長崎県食品ロス削減推進計画」(素案)に対するパブリックコメントの募集結果について

「長崎県食品ロス削減推進計画」(素案)について、パブリックコメントを実施したところ、貴重なご意見を賜り、厚く御礼申し上げます。お寄せいただいたご意見に対する県の考え方について、以下のとおり公表いたします。

記

- 1 募集期間 令和2年12月10日～令和3年1月11日(33日間)
- 2 募集方法 電子申請、郵送、ファクシミリ
- 3 閲覧方法 県ホームページ
長崎県資源循環推進課(長崎県庁6階)
県政情報コーナー(県政資料閲覧エリア:長崎県庁1階)
各振興局行政資料コーナー(長崎振興局を除く)
各県立保健所
- 4 意見件数 13件
- 5 意見への対応区分の内容

対応区分	内容	件数
A	素案に修正を加え反映させたもの	7
B	素案にすでに盛り込まれたもの 素案の考えに合致し、今後、具体的な対応を遂行する中で反映・検討していくもの	1
C	今後の検討課題とするもの	1
D	反映することが困難なもの	4
E	その他(質問等)	0

6 意見の要旨及び県の考え方

	該当項目	意見の要旨	対応区分	県の考え方
1 P.3	SDGs	SDGs目標 12「つくる責任つかう責任」のターゲット 12.5「2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用により、廃棄物の発生を大幅に減少する。」についても赤枠で囲んだらいいのでは？	D	本計画は、大切な食料資源を無駄にしない意識の醸成と有効活用を図り、食品ロスを削減していくための計画であります。ご指摘のターゲット 12.5 も食品ロスの削減につながる内容ではありますが、ターゲット 12.3 については食品ロスを出して言及したものであり、国の基本方針においても、ターゲット 12.3 が SDGs 目標 12 を達成するうえで重要な柱であることが明記されていることから、本計画においてはターゲット 12.3 のみを赤枠で囲むこととさせていただきます。
2 P.10	長崎県が抱える課題	「長崎県が抱える課題」の 1 つ目の課題について、「家庭系食品ロスは全国値を上回っている」と記載されているが、全国値ではなく「全国平均値」の誤りではないか。	A	ご指摘のとおり、全国平均値に修正します。 なお、本県と全国平均値が一目で比較できるよう、全国平均値の記載を加えます。
3 P.12	長崎県の食品ロスの削減目標	「2000 年度比で 2030 年までに食品ロスを半減させる。」という SDGs と国の目標は、長崎県においては令和元年度あるいはそれ以前において既に目標を達成している。このことを本文でも明記すべき。 そして、結果として令和 7 年度においては国の令和 12 年度の目標より更に 13%も削減したのとなっていることを説明すればわかり易くなる。	A	ご意見を踏まえ、本県の一人一日あたりの食品ロス量が 2030 年度における国の目標量を既に達成していることを明記します。 なお、本計画は令和 3 年度から令和 7 年度までの計画であるため、既に達成している国の令和 12 年度の目標に比べ、今後どれほどの割合を削減していくかは記載しないこととします。

4 P.16	家庭系食品ロス対策／ 普及啓発	第 4 章「食品ロス削減の推進に関する施策の展開」 「2 県の施策」(2) 家庭系食品ロス対策」について、 普及啓発の取組として「食品ロス問題とその削減の重 要性を・・・家庭でできる食品ロス削減のための取 組や 3010 運動等の啓発活動を行う。」とあるが、 3010 運動についての説明を入れてはどうか。	A	ご意見を踏まえ、3010 運動のトピックスを追加しま す。
5 P.16	家庭系食品ロス対策／ 情報収集・提供	第 4 章「食品ロス削減の推進に関する施策の展開」 「2 県の施策」(2) 家庭系食品ロス対策」について、 情報収集・提供の取組として「食育において、地域へ の貢献度が高く、・・・びわ太郎食育通信等の情報誌を 通じて紹介する。」とあるが、「びわ太郎食育通信」の 紙面をカットの的に紹介してはどうか。	A	ご意見を踏まえ、「びわ太郎食育通信」のトピックス を追加し、食品ロスに関する紙面を掲載します。
6 P.16	家庭系食品ロス対策／ 情報収集・提供	第 4 章「食品ロス削減の推進に関する施策の展開」 「2 県の施策」(2) 家庭系食品ロス対策」について、 情報収集・提供の取組として「食品ロスに関するHP において、・・・紹介する。」とあるが、HPのリン ク先を掲載してはどうか。	A	ご意見を踏まえ、「食品ロスに関するHP（リンク先） において、・・・紹介する。」に修正します。 なお、事業系食品ロス対策における同取組について も、同様に修正します。
7 P.16	家庭系食品ロス対策／ 情報収集・提供	第 4 章「食品ロス削減の推進に関する施策の展開」 「2 県の施策」(2) 家庭系食品ロス対策」について、 情報収集・提供の取組として「食育との連携により食 べ物に対する・・・」とあるが、この取組につい ては普及啓発の取組に入れたほうがいいのではない か。	A	食べ物に対する敬意や感謝の気持ち等、食べ物を大切 にするという意識の醸成については、すでに普及啓発 の取組として記載していることから、内容を以下のと おり修正し、情報収集・提供の取組として記載させて いただきます。 「食品ロスの発生を減らす食生活を推進するための 情報を収集し提供する。」

<p>8 P.16</p>	<p>家庭系食品ロス対策/ 未利用食品の活用</p>	<p>第 4 章「食品ロス削減の推進に関する施策の展開」 「2 県の施策」「(2) 家庭系食品ロス対策」について、 「未利用食品の活用」として「未利用食品の有効活用 のため、フードドライブの設置や……」とあるが、 フードドライブについての説明を入れてみてはどうか。</p>	<p>A</p>	<p>ご意見を踏まえ、フードドライブについてのトピックスを追加します。</p>
<p>9 P.18</p>	<p>事業系食品ロス対策/ 事業者取組支援</p>	<p>冷凍品については、賞味期限が長く（半年～1年の賞味期限の物が多く）、発注から納品までの期間が短いことから、製造業者は余剰に生産するが、販売店や生協には 1/3 ルールがあるため、発注のタイミング次第では 1/3 ルールを越え、納品ができなくなる。 その他、転売についても、規格違い、PB 商品の為に転売不可等のしぼりがあり、食べられるのに処分となるケースが多い。</p>	<p>B</p>	<p>ご指摘の「1/3 ルール」については、事業系食品ロスの発生要因のひとつとされていることから、第 4 章「食品ロスの削減の推進に関する施策の展開」「2 県の施策」「(3) 事業系食品ロス対策」における「事業者取組支援」に記載のとおり、国、業界団体の動向を見ながら県内事業者に見直しを促していくほか、規格外品についても、廃棄することなくできるだけ食品として有効活用されるよう、食品関連事業者にフードバンク活動の紹介を行っていきます。 また、転売不可等のしぼりについては、各事業者が取り決めている事項になりますが、現在、国においても事業者の商習慣の見直しに向けた取組が積極的に行われているため、国の動向を注視しつつ今後検討していきます。</p>
<p>10 P.18</p>	<p>事業系食品ロス対策/ 事業者取組支援</p>	<p>事業者による規格外品の廃棄を防ぐため「ふるさと納税返礼品として規格外品を利用する」のを推進するのは如何か。 特に味に問題がないものに関しては、消費者が利用する分には問題がないと思われる。 そのため、ふるさと納税返礼品として活用推進することにより可食部分のロスが削減でき、生産者の所得向上にもつながると考えられる。</p>	<p>C</p>	<p>ふるさと納税制度の活用については関係団体との十分な協議等が必要なため、今後の施策を検討していく中で参考にさせていただきます。</p>

<p>1 1 P.18</p>	<p>事業系食品ロス対策／ 未利用食品の活用</p>	<p>第 4 章「食品ロス削減の推進に関する施策の展開」 「2 県の施策」「(3) 事業系食品ロス対策」について、 「未利用食品の活用」として「子どもの貧困対策とフ ードバンク活動を連動させた取組の広域展開を促進 するため、・・・」とあるが、「子どもの貧困対策と フードバンク活動を連動させた子ども食堂等の取組 の広域展開を促進するため、・・・」に修正する。</p>	<p>D</p>	<p>「子どもの貧困対策とフードバンク活動を連動させ た取組」とは、こども食堂等の取組と限定するもので なく、令和元年度から長崎市母子会が新たに開始した 「つなぐBANKフードバンクシステム総合相談支 援事業」を指しており、当該事業は、ひとり親家庭の 生活困窮世帯への食材等の配布支援に併せて相談支 援等を行うとともに、こども食堂の課題解決に向けて 地域のこども食堂等と食材を提供する企業のマッ チング等を目指す取組であります。</p>
<p>1 2 P.18</p>	<p>事業系食品ロス対策／ 未利用食品の活用</p>	<p>加工も含め、大漁に漁獲された場合、冷凍保管場所も なくなり、最終的に値がつかなくなる。早めの漁獲調 整が必要と思う。</p>	<p>D</p>	<p>加工への取組支援や国の冷凍保管事業等の活用を引 き続き図っていきます。 また、漁獲調整については、改正された漁業法におい て TAC(漁獲可能量) 管理の強化や IQ (個別漁獲割 当) 制度の導入等、新たな資源管理が盛り込まれてお り、今後、より適切な資源の利用が期待されます。</p>
<p>1 3 P.18</p>	<p>事業系食品ロス対策／ その他</p>	<p>量販店等の鮮魚売場では、売れ残りを想定し販売価格 をつけている。よって、水産物は「高い」という消費 者のイメージがあると思う。漁師もなぜ量販店は高い 価格で販売しているのか？と多くの意見もあり、「イ メージ末端売価の1 / 3が漁師の手取り」という現状 を改善して欲しい。</p>	<p>D</p>	<p>本計画は、大切な食料資源を無駄にしない意識の醸成 と有効活用を図り、食品ロスを削減していくための計 画であり、ご指摘の販売価格の設定については本計画 の趣旨にそぐわないものであることから、ご意見を反 映することはできません。</p>